

輸出事業計画

※申請者名：愛南漁業協同組合、品目：マダイ（養殖）

1. 輸出における現状と課題

【本事業計画の概要】国際水産エコラベル認証を軸に、養殖マダイの生産から販売までを一体的に強化し、北米を中心とした輸出拡大を図る取組みである。

■現状

- ・ 養殖マダイ（生鮮・冷凍）を中心に、北米市場を軸として輸出を展開
- ・ 国際水産エコラベル認証（MEL、BAP、ASCなど）を活用することで、海外市場での取引機会を拡大
- ・ 輸出額は当初計画を上回るペースで増加し、安定的な輸出基盤が形成されつつある

■主な課題（生産・加工物流・販売）

- （生産）国際水産エコラベル認証（BAP、ASC）を取得した養殖魚の安定供給体制の確保
- （加工）加工・保管機能の制約による供給量拡大への対応
- （物流）物流コストおよび品質管理への継続的対応
- （販売）海外市場における認知度の更なる向上

2. 輸出事業計画の取組内容

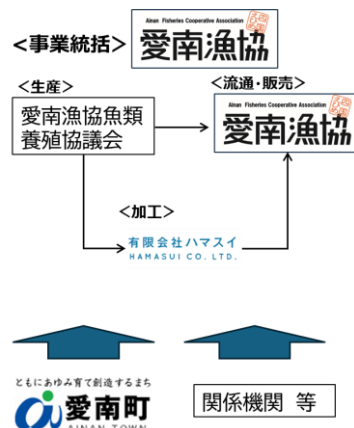
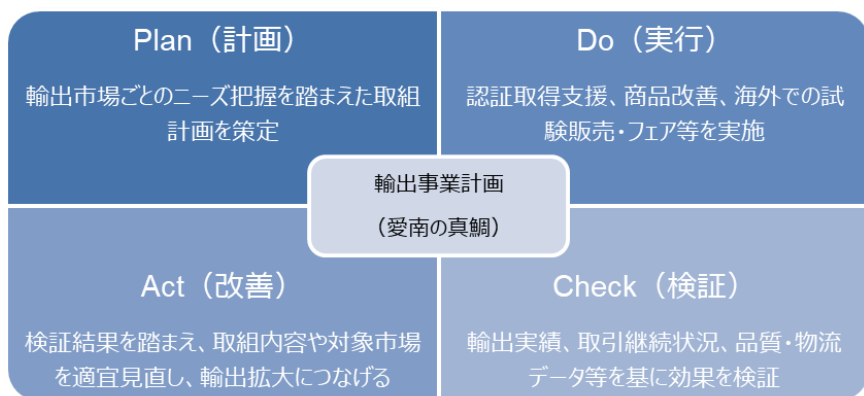
■課題に対応した主な取組内容

- ・ 国際水産エコラベル認証の取得支援による生産基盤の強化
- ・ 加工・冷凍・保管体制の改善による商品対応力の向上
- ・ 小売・外食向け提案やフェア等を通じた海外での認知度向上
- ・ 北米を中心に、ASEAN・中東など複数地域への展開を進め、輸出先の分散を図る

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PDCA実施体制計画及び体制は以下の通り。

生産・加工・流通・販売の関係者が連携し、定期的な情報共有により事業を推進する。



4. 輸出目標額

		現状（令和6年度）	目標年（令和11年度）
愛媛県愛南地区	輸出額(千円)	153,985	173,500
	輸出先国	アメリカ・カナダ	アメリカ・カナダ
		マレーシア	ASEAN、中東

※過去の輸出実績および新規商流の立ち上がりを踏まえ、段階的な目標を設定。